

【エクアドル経済：2011年8月】

1. 国内経済

(1) 輸入ライセンス制の導入

26日、貿易審議会(COMEXI)は官報第521号を以て決議第17号「輸入ライセンス制」を導入した。タイヤ・液晶テレビ・白物家電・携帯電話・自動車(大型トラックやバスを除く全ての完成車)・CKD(自動車組立ノックダウン)など総計51品目の輸入には、工業産業省(MIPRO)が発行する輸入ライセンスを船積発送前、船積毎に取得しなければならない。

(2) エスメラルダ石油精製所改修による経済への影響

2012年、エスメラルダ石油精製所改修が行われ機能停止する。総量450万バレルの石油製品の減産が想定され、その分は輸入しなければならず、財務省(MEF)及び国家開発計画庁(SENPLADES)は、2012年予算に総額4億7000万ドルの追加支出を計上している。

エスメラルダ精製所の改修作業には総工費8億5500万ドルを要し、2013年に完了する見通し。工期は三段階に分けられ、第一/第二工期は韓国のSK社が請け負っている。第一工期では水酸化ナトリウムのプラントが新たに建設され、新たなポンプが設置される。第二工期では蒸気発生システム、及び廃液処理システムの工事となる。

2. 対外経済

(1) 米系石油企業シェブロンとの投資紛争問題：第二審判決

2006年12月にシェブロン(旧テキサコ)が1991～93年の石油事業7案件で契約に基づいた精算が当国政府よりなされなかったとして、ハーグ常設仲裁裁判所に総額16億520万ドルの損害賠償を申し立てていた件に関して、8月31日、ハーグ常設仲裁裁判所は、当国政府が二国間投資協定に違反していると判断し、当国政府に賠償金9635万5369ドル(直接的被害額4499万ドル+利子5136万ドル)を同社に支払うよう命じた。当国政府は右判決を不服として、90日以内に無効とするよう上告する予定である。

(2) 対韓関係

2日、李相得(Lee Sang Deuk)国会議員は当国を訪問し、大統領と会談を行った。李議員は国家を率いるコリア大統領の働き、情熱及び努力を強調した。大統領会談は約四時間に亘り、閣僚数名が参加して多岐に亘る経済協力案件につき協議した。同議員は「韓国政府の代表として、我々はコリア大統領及びエクアドル政府の意向を全て受け容れる用意があり、そのために我々はここにいる」と述べた。

(3) 対中関係

(a) 水力発電所建設事業

14日、ルアレス(Luis Ruales)エクアドル電力公社(CELEC)総裁は、「電力総供給量200Mwが期待される4箇所の発電所(①キホス水力発電所(Quijos) ②マサル・水力発電所(Mazar-Dudas) ③デルシタニサグア水力発電所(Delsitanisagua) ④ビジョナコ風力発電所(Villonaco))の建設に総額6億ドルを充てている。右支出は先般の原油を担保とする中国からの融資により賄われる。右融資は中国企業が施工するよう条件付けされており、近日中に中国企業各社を対象に入札を行う。建設に向けた一連の行程は既に進められており、中国企業4社に申入れを行った。ビジョナコ風力発電所案件では、既にHidrochina及びGoldwindの2社より応札があった。結果発表は数週間後に行う予定である。デルシタニサグア水力発電所の入札は近日中に開始する」と語った。

【当館注：中国企業が関わる発電所建設案件】

- (1)キホス水力発電所:場所ナホ県/総工費 9200 万ドル/竣工 2016 年予定/発電量 50 Mw
- (2)マサル水力発電所:場所アスアイ県/総工費 3700 万ドル/竣工 2014 年予定/発電量 20.9Mw
- (3)デルシタニサグア水力発電所:場所サモラチンチペ県/総工費 2.1 億ドル/竣工 2015 年予定/発電量 115Mw
- (4)ビジョナコ風力発電所:場所ロハ県/総工費 3200 万ドル/竣工 2012 年予定/発電量 15Mw
- (5)今般報道以外に、①ソプラドラ水力発電所(Sopladora:場所アスアイ県/総工費 5 億 7100 万ドル/本年 4 月 26 日着工/竣工 2014 年予定/発電量 487Mw)、②トアチ・ピラトン水力発電所(Toachi Pilaton:ピチンチャ県/総工費 5 億 1700 万ドル/本年 5 月 30 日着工/竣工 2015 年予定/発電量 254Mw)、③コカ・コード水力発電所(Coca Code:場所ナホ県-スクンピオ県/総工費 19 億 7900 万ドル/竣工 2014 年予定/発電量 1500Mw)の建設にも中国が関与している。

(b) 第 6 回エクアドル・中国政策協議

29 日、第 6 回エクアドル・中国政策協議が開催され、パティニョ外務大臣、ルーカス外務副大臣、及び張昆生(Zhang Kunsheng)外交部部長助理(外務次官補)などが出席した

張部長助理はエクアドルでのインフラ事業への投資といった中国政府の決定に関し、「我々は技術移転を優先し、異質ともいえるエクアドルと技術協力を行っていきたい」と語った。

(4)対露関係

31 日、ポンセ国防大臣は露テレビ局“Rusia Today”に出演し、露製軍備購入のため総額 2 億ドルの融資を含む軍事協力協定の締結に関心を有していることを明らかにし、「当国政府は露政府との交渉を進めている。当国は露から総額 2 億ドルの融資を借入れ軍備強化を考えている。エクアドルは露を軍備供給国、且つ提携国と考えている。現在、ラ米地域の軍備は露製及び伯製が大部分を占めるようになり、エクアドルでは露製軍備の知識が高まっている。」と述べた。

(5)ヤスニITTプロジェクト

30 日、オルギン・コロンビア外相はヤスニ ITT プロジェクトに総額 10 万ドルを支援すると表明した。